

秋山登山に関する注意事項

秋山登山で遭難しないために、次の点に注意しましょう。

○ 無理のない計画と『登山計画書』の提出を

自分の体力、技術、経験に応じた山を選ぶとともに、無理のない計画を立て、作成した登山計画書は家族や職場のほか、最寄りの警察署又は交番、駐在所に提出しましょう。北海道警察のホームページからメールで登山計画書を提出することもできます。

○ 複数での登山を

単独登山は、行動中のアクシデントに対応できない場合があります。

できるだけ単独での登山を避け、経験豊富なリーダーのもと、パーティーを組んでの登山に努めましょう。

○ 万全の装備と余裕のある食料などの準備を

秋は日ごとに日没が早くなるため、下山が遅れると周囲が暗くなり、登山道を見失うことがあるので、日帰り登山でもヘッドランプは必携です。

また、不測の事態に備えてツェルトや防寒着、予備食料等を携行しましょう。

○ 通信機器の携行を

万一の連絡手段として、携帯電話等を携行するとともに、山岳地では携帯電話の通話圏外が多く、バッテリーの消耗が早いので予備バッテリーも携行しましょう。

○ 入山前に気象状況の確認を

入山前には、必ず気象状況を確認しましょう。

秋は昼夜の気温差が大きく、登山口で雨が降っていても、標高が高い山では雪が降ることがあり、軽装の登山者が、低体温症で死亡する事案も発生しています。

天候悪化が予想されるときには登山を中止又は延期しましょう。

○ ヒグマに注意！

秋はヒグマが活発に行動します。

ヒグマに遭遇しないよう、熊鈴など音の出るものを携行しましょう。

また、万一に備えて熊撃退スプレーの持参をおすすめします。

